

【外部評価シート案】 令和8年度「外部評価員による行政評価」評価結果_第6次えびの市総合計画

	基本施策/横断的施策	担当課	内部評価 (担当課評価)	外部評価	意見等
1	基本施策5 市立病院の充実	市立病院	B	B	・一生懸命取り組んでいますが、経営状況、施設の老朽化、医師確保について非常に厳しい状況にあると思います。 ・課題についてしっかり把握されており、その対策や進捗状況もしっかり進んでいるかと思っています。 ・若い世代や移住される方向けに、予約システムや診療時間などをもっと分かりやすく情報提供できるよう、市民目線で考えていかなければいけないと思います。 ・市内の病院が減る中で、ますます市立病院は重要になっていくと思います。 ・非常勤の先生を増やして、遠隔診療を行うような、効率化、DXなども活用されたら良いかと思っています。
2	基本施策8 企業立地の推進	企業立地課	B	B	・誘致に関してもすごく勉強されていて熱意を感じました。 ・取組の状況や推進結果から見て、全体的にA評価としても良いのではないかと思います。 ・物価高や資材高騰などの外的要因で数字上は進んでいない部分もありますが、しっかり考えて取り組まれていると思います。 ・TSMCの九州進出に伴い、八代市に関連企業などが出来れば、えびの市での雇用推進が進み、若い世代が家建てたり買い物に訪れたりするなど、前向きな要素もあると思うので今後に期待します。 ・目標数値という点では長い目で見ていく必要があると思いますが、広報・PRにしっかり取り組み、補助金をうまく活用されているのでA評価と考えます。全体としてはA評価に近いB評価と判断します。
3	基本施策4 地域福祉の充実	福祉課	A	A	・課題はあるようですが、全体的にしっかり事業を進められていると思います。 ・地域福祉に関しては、市だけではなく、関係機関と連携し、支援していかなければ実現できないと思います。 ・福祉タクシーの利用率が低い課題など、事業を進める中で具体的に原因を究明していこうという姿勢が見えました。 ・福祉課の持つ複数の計画を1つに集約していくことが、今後の課題だと思います。 ・障がいのある方への理解が十分に進んでいないと感じるので、もう少し市民の理解を深める活動をしてもらいたいと思います。
4	基本施策13 安全で安心な水道水の安定供給	水道課	B	B	・市の水道を維持するなら使わなければならないという市民意識も大事だと感じました。 ・財源が少なく思い通りにいかない中でも、計画を立てて進めていると思います。 ・水道管の耐久性などを把握されていて、災害に対しても対策を考えていることが伺えました。 ・柿木原浄水場の老朽化、水道管の更新に係る経費等、水道課は課題が山積していると思います。 ・水道管の更新等で再び水道料金を上げざるを得ない時期が来ると思います。公共料金の値上げは市民も反対しています。サービスの提供と維持管理のバランスを調整するためには、市民の意見を聞きながら進めなければならないと思います。 ・市民が本市の水道事業を知る事が必要で、一緒に考える環境は作って行かなければならないと思いました。
5	基本施策22 効率・効果的な財政運営	財政課	B	B	・財政課から職員へ、財政に対する理解を促していく必要があると思いました。 ・財政状況の公表方法の改善を図り、もっと市民から関心を持ってもらえるよう工夫が必要と感じました。 ・自主財源は少ないので、各担当課は国や県の補助金等の情報収集を行い、財政課はその指導をしていただきたいと思います。 ・毎年多額の基金を取り崩しており、単純計算すると財政が厳しく、大変なやりくりをされていると思いました。 ・職員に財政を理解してもらい、より補助金等を活用できるよう考えてほしい。
6	横断的施策2 教育移住の推進・飯野高等学校支援	企画課	B	B	・飯野高等学校支援については、10年、20年という長い目で見ていくべき施策だと思います。 ・飯野高等学校を存続させるため、生徒を呼ぶ努力をされていると思います。 ・市内小中学校の生徒あるいは保護者に対して、飯野高等学校では学校内に無料の塾を設置して、学力向上の取組を積極的に行っていることなどを常に説明していくことも大事だと思います。 ・普通科から未来探求科へ学科名が変更された理由については、保護者や生徒に誤解を招かないよう、学校側が丁寧に説明していく必要があると思います。 ・飯野高等学校の教育内容は素晴らしいので、市内の子供たちから進学希望されるよう、その魅力を周知する取組が課題だと思います。
		学校教育課	B		

【評価基準】 A評価:順調 / B評価:概ね順調 / C評価:順調とはいえない